

“和精油の日”

スペシャル企画

主催：一般社団法人 日本産天然精油連絡協議会

Concept

To Elevate “WA-SEIYU” be Unprecedented Level

“11月21日は いい匂いの日・和精油の日です”

和精油の香りでQOLを高めよう！

開催日：2021年11月21日（日）

開催時間：午前9:50～午後5:00

開催様式：

お茶の水ソラシティカンファレンスセンターTerrace Room

<https://solacity.jp/access/>

及びZOOM配信によるハイブリッド形式

会場募集人数：50名、ZOOM募集人数：制限無し

お問い合わせ：

日本産天然精油連絡協議会 事務局

〒162-0837 東京都新宿区納戸町3 グランドP. モナコ2F

電話：03-5946-8110 FAX：03-6457-5889

Email：kawaharada@j-neoa.or.jp

プログラム

*モーニングセッション

- 9:50~10:00 : 開会のあいさつ (津野田理事長)
- 10:00~10:30 : **日本産天然精油連絡協議会からのご案内 (外池専務理事)**
- 10:20~10:20 : **林野庁特用林産対策室長 挨拶**
- 10:30~12:00 : **和精油ショーケース (対面とオンラインEXPO)**

*ランcheonセッション

- 12:00~13:00 : **和精油ショーケース (対面とオンラインEXPO)**

*アフタヌーンセッション

和精油アカデミックアワー

- 13:00~13:45 : 有料セミナー (光永徹先生)
- 13:45~14:30 : 有料セミナー (谷田貝光克先生)
- 14:30~15:15 : 有料セミナー (千葉良子先生)
- 15:15~16:00 : 有料セミナー (外池光雄先生)

和精油生産者・消費者の声

- 16:10~16:30 : 精油生産者からの声 (株式会社 一十八日)
- 16:30~16:50 : 精油利用者からの声 (和田文緒様)
- 16:50~17:00 : 閉会のあいさつ (外池専務理事)

● 日本産天然精油連絡協議会からのご案内：

内容：現在行っている活動、精油認定制度について（検討課題）、今後の活動

● 和精油ショーケース（対面とオンラインEXPO）：

内容：和精油生産者のプロモーションビデオを会場とオンラインのハイブリッド配信。別途ビデオ配信に参加した精油メーカーのリストを作成して参加者に配布。

プロモーションビデオの時間枠：5～7分

プロモーションビデオの構成：●原料の様子 ●生産場所 ●蒸留の様子 ●製品紹介など

参加枠：20社又は個人

出展料金：法人・個人とも¥5,000

視聴料：無料

● アカデミックアワー：

内容：国内外で活躍されている著名な先生方にご登壇いただき、和精油に関して機能性や応用に関して講演いただきます。

講演者：

- 光永徹先生（岐阜大学応用生物科学部教授）
- 谷田貝光克先生（東京大学名誉教授、秋田県立大学名誉教授）
- 千葉良子先生（日本薬科大学特任教授）
- 外池光雄先生（びわこりハビリテーション専門職大学 教授）

時間枠：それぞれ40分、質疑応答5分

参加費：一般（¥10,000）、法人会員・正会員（¥3,000）、一般会員（¥5,000）

● 和精油生産者・消費者の声：

内容：精油生産者と利用されている方々を代表して、日本産精油生産の現状と活用についてお話しいただきます。

講演者：

- 株式会社 一十八日
- 和田文緒様

参加費：無料

● アカデミックアワー講演者と講演要旨

光永徹先生

演題：和精油香気がマウスのストレス及び記憶・学習障害の改善に与える効果



プロフィール：岐阜大学応用生物科学部教授。

九州大学大学院在学中には、木材の色に関する研究を行いました。大学院修了後は山陽国策パルプ（株）研究所にて接着剤の開発に従事しました。その後三重大学に移り、樹皮タンニンの構造解析及び生理機能研究、さらに岐阜大学に転任した後は、植物機能性成分の探索及び精油の生理生体に及ぼす効果について研究しています。

講演要旨：本講演では、和精油としてスギ、ヒノキ、ヒバの木材精油と沖縄に自生するタイリン月桃葉精油を取り上げます。これらの精油香気成分による、マウスのストレス軽減効果やストレスからもたらされる、記憶・学習障害の改善効果について実験し、生化学データや動物行動試験結果を基にその効果を解説いたします。この講演を通して、日本産精油がメディカルアロマセラピーとして人の生活や健康に将来活用できるかを皆様と議論させていただければと思います。

谷田貝光克先生

演題：草木のかおりで健康を保つ



プロフィール：東京大学名誉教授、NPO 炭の木植え隊理事長。

東北大学理学部、大学院理学研究科修了(理学博士)、米国バージニア州立大学、メイン州立大学博士研究員、森林総合研究所室長、科長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授、秋田県立大学研究所所長。教授、フレグランスジャーナル社香りの図書館館長を経る。

講演要旨：草木はそれぞれに特有のかおりを持ち、多様な働きを有している。ここでは特にわが国に生育する草木のかおり・精油が健康を維持するのに関わっているものを取り上げ、ご紹介する。

草木のかおりがストレスをやわらげることは森林浴などの行為で知られているし、精油が胃潰瘍やガンの抑制、アトピー・喘息・鎮咳、肥満、糖尿病の抑制、骨量増進などに効果があることも明らかにされている。これまでは感覚的に言われてきた身近な植物の働きが、分離・分析技術、生物検定技術の進歩により明らかにされつつあり利用が進められている。

千葉良子先生

演題：精油の品質基準の研究



プロフィール：日本薬科大学薬剤師、医学博士

1975年 昭和薬科大学薬学部薬学科卒業。同大学 臨床化学分析研究室教授を2017年に退職。同年4月より日本薬科大学客員教授を経て現在は日本薬科大学特任教授

(一社)日本アロマセラピー学会 副理事長、精油制度委員長、美の国あきた「秋田産業サポータークラブ」幹事

講演要旨：日本にアロマセラピーが導入され、およそ30年が経過しました。最近ではアロマセラピーの認知度が高まり精油市場も拡大しています。しかし、アロマセラピー業界における精油の規格基準はほとんどありません。添加物としての精油は食品香料、化粧品用香料および医薬品・医薬部外品では日本薬局方や薬価基準収載品目リストに収載され、それ以外は雑貨扱いとなります。本セミナーでは、クロモジ精油とラベンダー精油を例にとり検討中であります日本アロマセラピー学会（JSA）の精油認定基準2021（自社規格）をもとに発表致します。

外池光雄先生

演題：和精油と香りがヒトの脳・生体に及ぼす影響



プロフィール：昭和42年静岡大学理学科物理卒、通産省工技院電気試験所入所、工学博士号取得（大阪大学）、電子技術総合研究所・産業技術総合研究所主任研究員、研究室長を経て平成17年より千葉大学大学院工学研究科教授、平成23年から藍野大学臨床工学科教授の後、令和2年よりびわこリハビリテーション専門職大学教授、現職

講演要旨：本講演では、まず最初に、近年注目されるようになった和精油の優れた特徴と香りの特性について述べます。次に、「和精油はなぜ魅力があるのか」、や「香りは私達の脳や生体に一体、どのような影響を及ぼしているか」について、最近の脳科学や生体計測技術の急速な発展によって明らかとなってきた研究の到達点について述べます。講演では、随時、講師自身による香りの脳研究結果の紹介も含め、和精油や香りが現代の複雑でストレス負荷のある社会の中で果たす今後の役割についても述べる予定です。